

富山県中小企業家同友会

経営者大学第16期のご案内

～幅広い学びを通して、経営者としての総合力を向上させることを目指そう！～

2002年にスタートした経営者大学も16期を迎えました。私たち中小企業が経営を維持発展させていくためには、社員を採用・教育し、その能力を主体的に発揮する仕組みや環境をつくるのが大切です。そのためには、経営者の力量を更にアップさせるだけでなく、経営理念を社員と共有して、社員がイキイキと働ける組織や風土に、会社を変革していく必要があります。

第16期は、激変する経営環境についてあらためて再確認すると共に、“どんなに環境が厳しくても負けない！で、今後の方向性や展望へのヒントが掴める場にしよう”という視点から内容を組み立てました。

講師には、富山大学のご協力による各分野のエキスパートに協力頂きました。

現在の経営環境を「全員経営」で打破していく！という視点で、これからの方向性や展望を考えるヒントと勇気が湧いてくる内容であると確信しております。 **ぜひ、幹部の皆さんと一緒に参加ください。**

経営者大学の目的：激動期を確かに生きるための知識を様々な角度から学び、これからの社会と経営の発展方向を洞察し、「共育」力を身につけます。

《募集要項》



- 対象 経営者・後継者・幹部社員
 - 期間 10月30日(月)～11月22日(水)全3講
*全講出席者には、修了証授与
 - 会場 富山大学 生涯学習部門 第一学習室(申込者には案内図送付)
 - 時間 18:00～21:00 **時間厳守!!**
 - 内容 カリキュラムは裏面参照
 <主な進め方> 講義+グループ討論+補足講義が基本ですが、内容によっては異なります。
 - 定員 30名 ※対象：経営者、後継者、幹部社員
 - 受講料 会員企業一人10,000円(同一企業で複数参加の場合は、2人目からは5,000円)
会員外企業一人15,000円) *単講受講、1回5,000円
 - 申し込み FAX:076-452-6116 TEL:076-452-6006
- 主催：富山県中小企業家同友会 共育委員会 協賛：富山大学地域連携推進機構生涯学習部門
- 切 り 取 り 線

経営者大学 第16期 参加申込書

会社名

| | 参加者氏名(フリガナ) | 役 職 | 年 齢 | 単講受講希望の場合は講座番号記入 |
|---|-------------|-----|-----|------------------|
| 1 | | | | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |

第16期経営者大学<カリキュラム>

| | 日時・講師 | テーマ・学ぶポイント |
|-------------|---|--|
| 第 1 講 | 10月30日 (月) 講師 おやいづ 小柳津英知氏 富山大学 経済学部 教授 | 「“地方消滅”論の検証と地方圏のビジネスへの影響」 ベストセラーになった「地方消滅」の2040年予測に自治体の対応は出揃っていますが、ビジネスへの影響はどう考えるべきか？オリンピックの影響も含めて議論を整理して考察します。この機会に一緒に考えてみましょう！ |
| 第 2 講 | 11月10日 (金) 講師 柵 富雄氏 (株)ジェック経営コンサルティング 経営企画管理部顧問 人材社会研究室 主幹研究員 | 「話題のIoT/ICT –その課題を考える」 ICTやIoTという言葉は最近頻りに聞くようになりました。 IoT: Internet of Thing (モノのインターネット) と言われ、様々なモノがインターネット接続されることで、生産、流通、生活などの様々な変革(イノベーション)の起こす可能性が広がっています。 すでに生産現場ではセンサーがインターネットに接続され、街中や家の中のモノもインターネットに接続できるものが増えてきました。 私たちの生活を豊かにする新しい製品やサービスがどんどん増えています。 9月には、県内244社が参加する富山県IoT推進コンソーシアムが発足し、関連ビジネスの開発や自社の導入を検討し始めています。 AI: artificial intelligence (人工知能) という言葉もよくでてきます。 熟練者の栽培技術を生かして高品質のトマトが生産され、高収益を上げている地域もあります。 人手不足の解消に期待される面があれば、一方でAIは人間の多くの仕事をこなすようになり、AIを使った機械に奪われる職業のランキングまで発表されています。 ところで、家庭にある電気ポットをインターネットに接続した発想は、どこから生まれたと思いますか？ 熟練農家のノウハウがAIによって、なぜビジネスになると考えたのでしょうか？ 本講義ではその着眼点を探るとともに、取り組みの課題を考えてみたいと思います。 |
| 第 3 講 | 11月22日 (水) 講師 内田康郎氏 富山大学 経済学部 教授 | 「“誰と組むか”に潜むこれからのビジネスモデル」 多くの企業で大切にされている企業理念、皆さんがたの会社にもあることと思います。改めて言うまでもなく、この理念は企業の究極的な目的を示すもの。ただ単に業績を上げさえすれば良いということではなく、最も大切なのはこうした理念に向かって自社の事業価値をこれまで以上に高めていくことです。 では、事業価値を高めていくためには何が必要でしょうか？それは、これまでの事業のやり方をきちんと振り返ることと言えるでしょう。 近年、IoTの進展が注目されていますが、その本質はただ単に便利になるということではなく、「業種を越えた連携ができるかどうか」にあります。つまり、「誰と組むか」が今後の事業価値拡大のカギを握ることと言えるのです。ライバル企業とだって組むことは十分にありうることになります。 当日は、こうした事業間連携について皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。いろいろ深く考える時間にしましょう！ |